

平成 28 年度地域おこし協力隊・受入団体合同研修会  
北海道東川町研修概要  
10 月 27 日(木)～28 日(金)

<目的>

北海道東川町は国道・鉄道・上水道、普通ならあって当たり前の3つの「道」が無い町だが、地域の資源を活かした独自の町づくりに成功し、多くの観光客、移住者を惹きつけ、農林水産省の地域おこし協力隊（旧田舎で働き隊）も総務省地域おこし協力隊も多く受け入れている。

本研修では、魅力ある町づくりを行ってきた東川町を舞台に、農家民泊・グリーンツーリズムなどをつくり上げた協議会、自然体験活動や人材育成を行ってきたNPOの方から話を聞くとともに、先輩隊員から地域に入る心得や成功、失敗体験など紹介してもらい、参加者が自分たちの活動拠点での役割や任期終了後のビジョンをどのように描いていくか、受入れ団体にとっては、どのような視点で地域おこし協力隊を育成することが必要か等について、学ぶことを目的とする。

<ひがしかわ子ども農村体験交流推進協議会の取り組み>

平成 26 年度農林水産省都市農村共生対流総合対策交付金事業の採択団体として、観光と連携したグリーンツーリズム事業を実施。とくに子ども農山漁村体験交流におけるプログラムの開発のほか、農家民泊における農村体験の受け入れを柱とした町内の観光資源と連携させた滞在型体験プログラムの受入体制整備をおこなっている。町外からの修学旅行での農家民泊の受け入れをはじめ、町内の子どもたちへのふるさとに愛着を育む体験活動の場として地域資源を活用したプログラムの開発などもおこなっている。農業体験においては、とくに修学旅行や子ども農山村交流を考えている学校などの農家民泊の需要の高まりから、農家民泊の問い合わせが増えている一方、受け入れ先の拡大が課題となっており、本協議会を中心に受入農家の掘り起こしを行っている。



農家民泊体験の受け入れ



機運啓発としてのフォーラムの開催



都市部住民のグリーンツーリズムツアーの受け入れ



地元の子どもたちを対象とした地域再発見ツアーの実施（水育ツアー）

### <NPO 法人大雪山自然学校の取り組み>

北海道大雪山のふもとである東川町と大雪山国立公園・旭岳をフィールドとし、自然体験活動、エコツアーの実施及び国立公園の環境保全事業を実施している。また人材育成事業として自然案内人養成講座の開催や研修生・インターンの受入も実施している。農林水産省の田舎で働き隊の研修生の受入実績もある。



### <北海道東川町の取り組み>

#### ■写真の町東川町 <https://town.higashikawa.hokkaido.jp/>

1985年に「写真の町」宣言をして「町民が参加し後世に残し得る町づくり」として、「自然」や「文化」そして「人と人との出会い」を大切に「写真映りの良い町づくり」を進めている。東川町国際写真フェスティバルや全国の高校生を集めた写真甲子園などを開催している。

その取り組みは注目され「東川スタイル～このまちの“ふつう”は、ふつうではない。～」（産学社、2016）、「東川町ものがたり～町の「人」があなたを魅了する～」（新評論、2016）など書籍化が相次いでいる。

#### ■木工の町～木工ギャラリー、工房、カフェ

東川町は木工業が盛んな町で、多くの家具職人が集い、その匠達が技を競い芸術性の高い家具を作り続け、全国的に名高い旭川家具の生産全体に占める約30%が東川町で生産されている。また、東川町の自然に魅せられて移住してきた人が開いているアトリエや喫茶店は町外からの観光客にも人気である。

#### ■「君の椅子」プロジェクト

旭川大学大学院の磯田ゼミの提案で始まった「君の椅子」プロジェクトは、新しい市民となった子どもたちに「生まれてくれてありがとう」の思いを込めて居場所の象徴としての椅子を贈る取り組み。東川町で始まったこのプロジェクトは今では北海道剣淵町、愛別町、東神楽町、中川町、長野県売木村の5町村で実施されている。

また2011年3月11日に誕生した104人のために「希望の君の椅子」として被災3県を訪問し椅子を贈呈した。



■研修スケジュール※視察ルートは変更になる場合があります。

研修1日目：13：45～14：00	道の駅東川「道草館」2階研修室にて受付開始
14：00～14：05	はじめに
14：05～14：10	事務局説明
14：10～14：30	自己紹介
14：30～15：00	講義①「東川町の取組みについて」(仮) 東川町産業振興課長 鬼塚 幹雄氏
15：00～16：00	講義②「地域おこし協力隊の役割について」 中越防災安全推進機構復興デザインセンター 稲垣 文彦氏
16：00～16：15	休憩
16：15～17：15	講義③「ひがしかわ子ども農村体験交流推進協議会の取り組み」 ひがしかわ子ども農村体験交流推進協議会 中田 浩康氏
17：15～18：15	講義④「地域おこし協力隊の受入体制について」 NPO 法人大雪自然学校 荒井 一洋氏 (バス移動)
18：30	キトウシ高原ホテルにて夕食
研修2日目：	(キトウシ高原ホテルからバス移動)
8：50	道の駅東川「道草館」集合
9：00～9：40	講義④「田舎で働き隊の活動とその後の仕事作り」 田舎で働き隊OB エコビレッジライフ体験塾 伊藤 伸二氏
9：50～11：40	廃校利用についてのワークショップ 東京農工大学 福井 隆氏 NPO 法人大雪自然学校 荒井 一洋氏
11：40～11：50	研修のまとめ(ふりかえり) 東京農工大学 福井 隆氏
12：00	昼食
13：30～15：30	現地視察② ・旧東川小学校視察(廃校活用事例) 文化芸術交流センター 東川町立日本語学校 君の椅子プロジェクトギャラリー (バス移動) ・ひがしかわ子ども農村体験交流推進協議会活動拠点 農家民泊協力農家視察 (バス移動)
15：40	旭川空港解散
16：20	JR 旭川駅解散

■視察先

- ・ひがしかわ子ども農村体験交流推進協議会活動拠点(農家民泊協力農家視察)
- ・旧東川小学校(廃校活用事例)

■27日(木)の昼食・集合時間について

27日の昼食は各自でお取りください。集合場所は道の駅東川「道草館」2階研修室となります。13:45~14:00まで受付をしていますので、お時間内にお越しください。※なお13:45前にお越しになっても受け付けはできませんので予めご了承くださいますようお願い申し上げます。

■宿泊先について

キトウシ高原ホテル <http://www.kitoushi-kougenhotel.jp/>

9,720円(1名)夕食・朝食付 ※男女別相部屋になります。1室4~5名

■2日目の昼食について

研修会場の近くにおいしいお店がありますので、当日配布する東川町飲食店MAPを参考に各自でお取りください。

《参考》

- ・これぞ北海道のラーメン!の「蝦夷ラーメン」
  - ・ミシュラン北海道に載っているうどん屋「千幸」
  - ・地元産の野菜の味を引き立てる洋食「ベレゾン」
  - ・バックカントリースノーボーダーやサイクリストが立ち寄るカレー屋「ノマド」
- など

※本企画は、東川町、ひがしかわ子ども農村体験交流推進協議会、NPO 法人大雪山自然学校および地域おこし協力隊(旧田舎で働き隊)の皆様のご協力のもとで企画しております。みなさまからも「こんな意見交換がしたい」「こんな話が聞きたい」というご意見がございましたら、ぜひお知らせください。どうぞよろしく願いいたします。

以上